

# 三重教務所通信

2022

4月号



発行人:三重教務所長 安田 雅  
〒511-0073 桑名市北寺町 47 教務所開所時間 平日 9:00~17:00  
☎:0594-21-8000 FAX:0594-21-8010

✉ 三重教務所 E-mail [mie@higashihonganji.or.jp](mailto:mie@higashihonganji.or.jp)  
桑名別院本統寺・三重教区HPアドレス <http://mie-betsuin.com/>



## ○教区寺院活性化支援室の設置に向けての取り組み

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業の柱となる取り組みとして、地域事情に応じたきめ細やかな教化活動の支援が行えるよう、各教区に寺院活性化支援室を設置していくことが定められています。

当三重教区においては、教区会参事会員及び教区教化委員会教化推進総務会が合同で、設置に向けた協議を行ってまいりました。その中で「寺院の活性化」また「支援」の具体的内容を改めて確認する中、先般3月9日に所管する本山・企画調整局より玉樹崇次長、伊藤耕参事を迎え、説明会及びワークショップ（体験型グループ学習会）を行いました。



玉樹企画調整局次長の説明

企画調整局寺院活性化支援室の事業は、「元気なお寺づくり講座」や「過疎過密地域寺院支援」「青少年教化支援」など、随時取り組みが行われています【『三重教報』



ワークショップの様子

第83号、38頁～39頁掲載】が、

今回は三重教区の寺院活性化支援室の在り方を模索する一環として開催されました。

当日は委員を3班に分け、お寺を取り巻く環境の変化について、委員それぞれが「機会（チャンス）」「脅威（ピンチ）」となるものをそれぞれ思いつくところを付箋に書き出し、それを班ごとに話し合い体系的に模造紙にまとめ、それを発表する手法をとりました。

委員からは、過疎による門徒の減少や後継者問題、コロナ下による法事などの法務の減少などの脅威が出された。法事の減少については、「脅威（ピンチ）」である一方、「一人ひとりと話す時間が増えた」という機会（チャンス）



班別発表

の意見や、インターネットを活用した新たな寺院運営の在り方などの意見が出ました。

今後、次年度以降の教区支援室設置に向けて更なる協議を進めてまいります。

## ○第22回「女性会議」の三重教務所サテライト会場について

このたび、解放運動推進本部女性室主催の第22回「女性会議」が開催されます。（『真宗』誌（2022年2月号、63頁に掲載）

**開催要項** <https://aiou-higashihonganji.net/img/22jyoseikaigi-annai.pdf>

この「女性会議」は、女性が宗門の活動に積極的に参画すること、そしてそのことが同朋会運動の活性化につながることを願って開催されます。

なお、この研修会の全日程の参加者は既に定員に達していますが、1日目の講義については、三重教務所3階講堂をサテライト会場として、モニターにて聴講いただけるよう準備いたします。

つきましては、参加ご希望の方は教務所（☎0594-21-8000、担当：華岡）まで連絡ください。

日 時 4月21日（木）午後1時30分から午後4時30分まで

場 所 三重同朋会館（三重教務所）3階講堂

講 師 上野千鶴子氏（社会学者・東京大学名誉教授・認定 NPO 法人ウィメンズアクションネットワーク（WAN）理事長）

その他 参加費は無料です。是非、ご参加ください。

## ○研修会（公開）のおしらせ

### **社会教化小委員会 公開講座**

◎日 時 4月15日（金）13時30分～16時

◎会 場 桑名別院本堂（桑名市北寺町47）

◎講 師 佐野明弘 氏（石川県 光闡坊住持）

◎講 題 真宗と社会問題

◎申 込 三重教区・桑名別院ホームページ：<https://mie-betsuin.com/> から申し込みください。

◎参加費 無料 どなたでもご参加いただけます。

※ 詳細は、三重教区・桑名別院ホームページを参照ください。

### **帰敬式執行者研修会**

◎日 時 4月22日（金）13時30分～16時30分

◎会 場 桑名別院本堂（桑名市北寺町47）

◎講 師 尾畑文正 氏（員弁組泉稱寺前住職）

松田 憶 氏（本廟部式務所堂衆）

◎対 象 帰敬式執行に携わる教区内僧侶及び門徒

◎申 込 三重教区・桑名別院ホームページ：<https://mie-betsuin.com/> から申し込みください。

※ 参加費は無料です。

※ 詳細は、三重教区・桑名別院ホームページを参照ください。

### 『差別と人間を考える』協議会公開学習会

- ◎日 時 5月9日(月) 15時～17時
- ◎場 所 桑名別院本堂(桑名市北寺町47)
- ◎講 師 片山寛隆氏(三講組相願寺住職)
- ◎内 容 『是旃陀羅』問題について
- ◎参加費 無料 どなたでもご参加いただけます。

※ 詳細は、先月号同封のチラシもしくは三重教区・桑名別院ホームページを参照ください。

### ジェンダー問題に関する公開講座

- ◎日 時 5月10日(火) 13時30分～16時30分
- ◎場 所 三重同朋会館3階講堂
- ◎講 師 岡 久美子氏(シニアライフ研究所 りあもでんな代表)
- ◎内 容 「私の困ったはみんなの困った」～ お寺でできること ～
- ◎参加費 無料 どなたでもご参加いただけます。
- ◎申 込 三重教区・桑名別院ホームページ：<https://mie-betsuin.com/> から申し込みください。

※ 詳細は、先月号同封のチラシもしくは三重教区・桑名別院ホームページを参照ください。

### 教研公開講義(浄土論註概論)

- ◎期 間 5月19日(木) 14:00～20:30  
20日(金) 9:00～16:00
- ◎場 所 三重同朋会館3階講堂
- ◎講 師 山田恵文氏(大谷大学准教授/三重教区 安正寺住職)
- ◎参加費 3,000円 他食事代等実費
- ◎申 込 三重教区・桑名別院ホームページ：<https://mie-betsuin.com/> から申し込みください。

※ 詳細は同封のチラシもしくは三重教区・桑名別院ホームページを参照ください。

### 育成員研修会

- ◎期 間 5月26日(木) 13:30～27日(金) 11:30
- ◎場 所 桑名別院本堂(桑名市北寺町47)
- ◎講 師 梶原敬一氏(真宗大谷派教学研究所元嘱託研究員)
- ◎テーマ 「僧伽に召される一同朋会運動の願い」
- ◎対 象 住職・教会主管者、坊守、寺族、門徒
- ◎参加費 2,000円 他布団代等実費
- ◎申 込 三重教区・桑名別院ホームページ：<https://mie-betsuin.com/> から申し込みください。

※ 詳細は同封のチラシもしくは三重教区・桑名別院ホームページを参照ください。

### 子ども会開設サポート研修会

- ◎日 時 5月30日(月) 13:30~16:30
- ◎場 所 桑名別院本堂(桑名市北寺町47)
- ◎講 師 渡邊愛子氏(仏典童話作家・同朋新聞に記事連載中)
- ◎内 容 仏典童話を読む(朗読を交えてお話しいたします。)
- ◎参加費 無料
- ◎申 込 三重教区・桑名別院ホームページ：<https://mie-betsuin.com/> から申し込みください。

※ 詳細は同封のチラシもしくは三重教区・桑名別院ホームページを参照ください。

### 「是旃陀羅」問題に関する教区学習会

- ◎日 時 6月3日(金) 14:00~16:30
- ◎場 所 三重同朋会館3階講堂(桑名市北寺町47)
- ◎講 師 中山善雄氏(教学研究所研究員)
- ◎参加費 無料
- ◎申 込 三重教区・桑名別院ホームページ：<https://mie-betsuin.com/> から申し込みください。

※ 詳細は同封のチラシもしくは三重教区・桑名別院ホームページを参照ください。

## 4月のテレホン法話

- 4月 1日~15日 …今井 香現 氏 (中勢1組 因蓮寺住職)
- 4月 16日~30日 …逢坂 勝彦 氏 (南勢1組 空釋寺住職)

心をひらく

24時間 いつでも どこでも テレホン法話  
☎ (0594) 23-6191

【敬 弔】生前のご功勞を深謝し謹んで哀悼の意を表します

- |     |     |     |                      |
|-----|-----|-----|----------------------|
| 桑名組 | 萬傳寺 | 前坊守 | 松枝 やす子 (2021年9月2日寂)  |
| 三重組 | 盛願寺 | 前坊守 | 加藤 寿々子 (2022年3月5日寂)  |
| 長島組 | 野亨寺 | 前坊守 | 田鶴浦 購子 (2022年3月24日寂) |

## Dialogue (ダイアログ・対話) — 教区教化委員会報告 —

### ○ 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要に係る企画要員会議

・3月4日に第7回作業部会、3月17日に第8回作業部会を開催した。協議内容は、来る10月8日のお持ち受け大会に向け、前日と当日のタイムテーブルを協議した。今後、スタッフ体制の検討を重ねる。次に、広報について、ポスター及びチラシについて協議した。ポスターとチラシは、2回作成予定で、1回目は来月号の『教務所通信』に同封予定。

次回は全体会(第6回)を4月26日(火)に開催する。

## ○ 特伝推進本部

・3月14日に「中勢ブロック特伝合同協議会」（於：松林寺）が開催され中勢1組9名、中勢2組2名、伊賀組1名、本部員5名が参加した。第11次特伝の経過が報告され、第12次実施に向けた変更点が提示された。班別・全体協議では変更点が承認された後、特伝本部への要望として①スタッフ、受講者に対する、特伝実施の願いと目的の丁寧な説明。

②実施に向けた継続的な見直しと改革他が挙げられた。

・3月24日にオンラインで月例会議を開催。(i)「中勢ブロック合同協議会」開催報告。(ii)第12次特伝以降のブロック改編について。(iii)「北勢ブロック合同協議会」（3月31日開催）について。(iv)修了アンケート改訂について協議し、各組進捗状況が報告された。

## ○ 社会教化小委員会

・3月2日に仏教青年会と合同で教誨師学習会を開催した。この学習会は、現教誨師の星川佳信氏（三重組大圓寺住職）の後任の選定の為に開催し、当日は当委員会と仏教青年会、今後教誨師としてご尽力いただける候補者など20名ほど（オンライン含む）の参加があった。

まず、現教誨師の星川佳信氏（三重組大圓寺住職）から、教誨師の活動内容や教誨師として関わってきた自らの思いなどをお話しされ、その後、参加者を交え質疑応答が行われた。今後、後任の教誨師選定に向け協議を重ねる。

・3月7日に小委員会を開催した。協議内容は今年度事業及び次年度事業計画について。まず、4月15日（金）の公開講座、5月10日（火）のジェンダー問題に関する公開講座の確認を行った。次に、次年度事業計画について、テレホン法話の講師選定を行った。

・3月14日に、東海連区教誨師会研修会が大垣教務所で開催され、当委員が参加した。

次回会議は、4月20日（水）午前10時から、次年度の事業計画を行う。

## ○ 教学研究室

・3月10日に月例会が対面・オンライン併用で開催され、研究員6名が参加。藤嶽明信室長の『観経疏・序分義』「厭苦縁」の講義に引き続き、質疑応答・座談の中で、室長は「教えとの出遇いは人間の予測を超えて起こります。浄土の教えとの出遇いという、人間の歴史の根源を証しているのが『観経』です。浄土の教えは人間の時間の制約を超えた普遍の救いの道で、それが人間の上に明らかになる。時と機が熟することを待ってそこに明らかにされていきます。韋提希も頻婆娑羅も、今まで聞いてきた仏法では力にならない、役に立たない。そういう「幽閉」という過酷なことに遭遇しているわけです。しかしそのことが機縁となって頻婆娑羅は改めて仏法に向き合っていきますし、韋提希においては自身が救われ、そして未来世の一切凡夫が救われていくような教えを聞かさせていただくわけです。それが『観経』に説かれる浄土の教えが人の歴史の中に明かされていく大いなる意味合いです」と語られた。

## ○ 教区坊守会

**「坊守会アンケート」結果を同封しますのでお読みください。**

・3月10日に役員会を開催した。三重教区は、来年度（2022年度）東海連区坊守研修会の当番教区となる為、前回（2015年度）の東海連区坊守研修会のお話を当時の会長（加藤弥生氏）と副会長（伊東真由美氏）にお越しいただき伺った。次に来年度の事業計画について話し合いを行った。また、先般行った坊守会アンケート結果の最終確認、教区若坊守会研修会（4月25日）についての打合せ、教区慶讃法要お待ち受け大会（10月8日）について、さらに、連盟の坊守研修会（4月20日）・若坊守研修会（4月19日）が共にオンライン研修になった連絡をした。

次回会議は、4月7日（木）午後1時から。東海連区坊守研修会（三重当番）及び来年度の事業計画について、委員会を開催し意見を伺う。

## ○ 書籍のご案内

### 『解説教行信証（下巻）』

教学研究所 編 定価：4,180円（税込）

宗祖親鸞聖人が60歳過ぎから晩年にかけて常に筆を足して完成していった主著『教行信証』のうち、「真仏土巻」「化身土巻」をわかりやすく現代語訳。読みやすさ、訳の美しさにこだわり抜いた、教学研究所渾身の一冊。

『真宗聖典』所収の『教行信証』に基づいた書き下し文を上段、その現代語訳を下段に配置し、書き下し文中の難解な用語を簡単に説明した脚註、さらに詳しい説明を要する用語は巻末に語註を掲載。

『教行信証』に親しんでいただく入門書としても活用いただける一冊です。



### 『南無阿弥陀仏の道 - 『教行信証』「総序」をたずねて-』

宗 正元 著 定価：275円（税込）

「南無阿弥陀仏の仏法に出遇わせていただいたご縁をふり返ると、よきひと、よき友が思い起こされてくる」…。

こう語る著者ととともに、先生方や田舎の人びと、苦悩の現実を担い生きた祖先が「念仏申せ」と勧める声なき声を聞く。

親鸞聖人の主著『教行信証』冒頭の「総序」の文を手がかりに、“真宗との出遇い、を尋ねた一冊。

※本書は、日豊教区（現九州教区）出版委員会が2015年に発行した小冊子『真宗遇いがたし』を再編集したものです。



一見、人生は無為に見える

しかし、一つの意味もないことなどありえない

アルベルト・アインシュタイン

### 晴耕雨読（教務所員から）

主計：窪田 昌展

春光うらかな季節を迎え、いかがお過ごしでしょうか。私にとっては自転車に乗るのが気持ち良い季節となりました。

ロードバイクに乗るようになって3年になります。わずか3年ばかりですが、今はその楽しさにはまってしまっています。それまでは運動不足を解消しようとジムに行ってみたりしていましたが意思が弱く長続きせず、そんな自分でも続けられる運動はないかなと探していました。そんな時、たまたま『弱虫ペダル』という自転車漫画を読んで、ロードバイクなら楽しそうだなと思うようになりました。しかし、平日は仕事、休日は子育てに追われ、とてもじゃないけど妻に自転車乗りたいから自由時間がほしいとは言い出せません。それなら通勤時間で自転車に乗れば、運動にもなるし、やってみようかなと軽い気持ちで始めました。それ以来、自分でも驚くくらいロードバイクにはまってしまい、休日にも遠出するようになってしまいました。

ロードバイクはもちろん「自転車」なのですが、いわゆる「ママチャリ」と同じカテゴリで括るのは間違いではないかと思うほど軽くて速く進みます。とにかく「速く」「遠く」へ進むために、人間のパワーをいかに効率よく前へ進む力に変えられるかを追求した形をしているので、気が付くと時速30kmくらい出て「こんなにスピード出てたん？」となるくらい勝手にスピードが出ます。走っているときは何とも言えない多幸福感に包まれ、この正体は何なのかを調べてみると、ロードバイクは気持ちを前向きにさせる「セロトニン（幸せホルモンとも言われる、精神の安定や脳を活発に働かせる脳内物質）」がしやすいのだそうです。ただし、はまったことで新しいロードバイクやアイテムが次から次へと欲しくなる煩悩に振り回され苦しんでいるので、プラスマイナスで「セロトニン」が残っていないかもしれません（笑）。最近では距離感が崩壊し、目的地まで30kmくらいならロードバイクでいいかなとか言って、確実に周囲から引かれているのを感じます。

これはあくまで自己満足の世界なので、温かい目で見守っていただければありがたいと思いますが、もし少しでも興味を持っていただければ嬉しいですし、ロードバイクの先輩がおられましたら、ご指南いただければありがたいことです。





日	曜	行事内容
1	金	本山 春の法要(～4日まで)
2	土	
3	日	
4	月	花まつり子ども大会 10:00-
5	火	⑯ 聖典基礎講座 13:30-
6	水	【南勢ブロック】特伝合同協議会 13:30-(於:無碍光寺)
7	木	差別と人間を考える協議会常任委員会 10:00- / 坊守委員会 13:00- 役員会 14:00-
8	金	教研月例会 13:30-
9	土	① 長島組特伝本講座 13:00-
10	日	
11	月	子ども会開設サポート企画要員会議 13:30-
12	火	特伝本部会議 13:30-
13	水	児連月例会 13:30-
14	木	教化推進総務会 13:30-
15	金	社会教化小委員会公開講座 13:30-
16	土	
17	日	① 四日市組特伝本講座 10:00-(於:法藏寺)
18	月	青少幼年教化小委員会 13:30-
19	火	特伝本部員学習会 13:30-
20	水	社会教化小委員会 10:00-
21	木	本山女性室公開講座 13:30-(教務所サテライト会場) / 仏青学習会 13:30-
22	金	寺族門徒研修小委員会 10:00- / 帰敬式執行者研修会 13:30-
23	土	
24	日	【中止】三講組特伝本講座
25	月	若坊守研修会 13:00-
26	火	慶讃法要に係る企画要員会議 13:30-
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	

① ご坊さんだより ②教区育成員研修会のご案内 ③子ども会開設サポート研修会チラシ ④教研公開講義(浄土論註概論)チラシ ⑤「是旃陀羅」問題に関する教区学習会チラシ ⑥坊守会アンケート ⑦連区同朋の会推進交流研修会チラシ